

# カンガルーシップ活動 理解プロジェクト 実施報告書

報告日	平成 28 年 2 月 23 日
学校名	山梨大学教育人間科学部附属特別支援学校
PTA 会長名	堀田 正子

実施概要	実施活動名	きりの子バザール（作業学習製品販売会・PTAバザー） （本校への理解を広げるための地域との交流活動）			
	実施日時	平成 28 年 2 月 4 日（木）			
	実施場所	本校体育館			
	実施目的	本校児童・生徒，保護者，福祉施設や地域の方々が，製品販売やバザーを通して交流し，支え合いや共生の精神を学び合う。			
	実施内容	作業製品販売会，PTAバザー			
	実施方法	中・高等部の作業学習の製品販売会と PTA バザーを共催し，そこに県内の福祉施設の出店を合わせて行う。周辺地域にも告知することで，地域の方々に本校の教育活動を知らせ，理解していただく機会とする。			
	参加人数	本校：全児童・生徒 57 名	全教師・40 名	PTA・約 50 名	福祉施設の方々：約 40 名

報告事項	内容	中・高等部の作業学習の製品販売会と PTA バザーを共催し，そこに県内の福祉施設の出店を合わせて行った。周辺地域にも告知することで，地域の方々に本校の教育活動を知らせ，理解していただく機会となるよう取り組んだ。
	結果	地域の方々に本校の学習活動について知っていただく機会として，中学部，及び，高等部の作業学習作業班の製品を販売した。作業製品を作るばかりではなく，きりの子バザール実行委員会を組織して活動したり，生徒自身が地域の方々への宣伝活動を行ったりすることで，主体的に取り組むことができた。販売会当日は，一般の方々 79 名，保護者 54 名の方々にご来場いただき，大盛況であった。製品販売やバザーを通して，保護者を始め福祉施設や地域の方々とも，交流を深めることができた。参加された方々からは，生徒の活動への真摯な取り組みに好意的な感想を多数いただくことができた。
	所感	販売会を通して，様々な方々に本校の児童・生徒の様子や学習活動について知っていただくことができ，生徒理解という面からも大変有意義な機会であった。また，今回も保護者の方々，地域の方々から大変好評であったため，来年度も継続していきたいと考える。

添付書類





## カンガルーシップ活動 理解プロジェクト参加感想

提出日	平成 28 年 2 月 23 日
学校名	山梨大学教育人間科学部附属特別支援学校
学年	

### ○本校児童・生徒の感想

- ・レジ係をしました。「いらっしゃいませ」「革細工はいかがですか」と大きな声で言いました。高等部木工班の製品を買いました。今まで班で協力して頑張ってきた成果を発揮できてよかったなと思いました。きりの子バザールが成功して嬉しかったです。  
(中学部 3 年)
- ・会計係を頑張りました。呼び込みでは、のどが痛くなってしまいましたが、大きな声を出しました。嬉しかったです。  
(中学部 3 年)
- ・作業学習で作った製品がたくさん売れて嬉しかったです。(高等部 1 年)
- ・大きな声でお客様の呼び込みや製品の紹介をして頑張りました。(高等部 2 年)
- ・製品の完売めざしてみんなで頑張りました。(高等部 3 年)

## カンガルーシップ活動 理解プロジェクト参加感想

提出日	平成 28 年 2 月 23 日
学校名	山梨大学教育人間科学部附属特別支援学校

### ○保護者の方々の感想

- ・きりの子バザールが大成功で良かったです。それぞれが、自分の係をよく頑張っていました。子どもたちが協力し合っている姿がとても印象的でした。
- ・大きな声で「ありがとうございました。」と言っている子どもたちの姿を見て、感動しました。
- ・子どもたちが頑張っている姿を見ることができて嬉しかったです。いろいろ買い物をして祖母にもプレゼントし、喜んでもらえました。
- ・子どもたちが作る製品が年々素晴らしくなってきたので、成長しているんだなあと思いました。
- ・他学部の様子も知ることができ、とてもよい機会でした。